

2026年（令和8年度）

一般選抜

入学試験要項

CONTENTS

出願から入学手続きまでの流れ	1
各学科・専攻の求める人物像	2
出願資格	5
選考方法等	6
出願	11
受験に際しての注意	14
合格発表の確認方法・授業料等納入金	15
入学手続き・入学辞退	16
総合工学系	17
併願入学検定料優遇措置	19
特別奨学生制度	20
提携学費サポートプラン	21

SAIKO 埼玉工業大学

入試制度・受験資格についてのお問い合わせ先

入試課（受付時間 平日9:00～17:30）

 **0120-604-606**
 **048-585-6814**（直通）

大学出願ネットの操作・入学検定料の支払い・
WEB出願全般についてのお問い合わせ先

大学出願ネットサポートセンター
（受付時間 平日10:00～17:00）

 **042-732-3951**

出願から入学手続きまでの流れ

一般選抜

WEB出願

WEB出願
マニュアル参照

新規登録（「大学出願ネット」から登録）
※本学ホームページのトップページにある「WEB出願」のバナーをクリックしてください。

個人情報の入力・確認

入試制度の選択

出願資格の確認

出願内容の選択・確認
(受験学科・専攻・受験会場・個人情報 等)

入学検定料の決済方法の選択

志願確認票の印刷（2枚）「出願状況一覧」
(宛名ラベルの印刷)

入学検定料の決済・必要書類の送付
必要書類
①志願確認票 ②調査書（厳封） ③B日程：英語外部試験スコア（希望者のみ）

出願完了メール受信・受験票の印刷

試験当日「1月28日(水)・1月29日(木)・2月19日(木)」

合格発表

合格の場合：WEB出願サイトから入学手続きサイトへアクセスが可能になります

入学手続（入金・WEB手続き）

各学科・専攻の求める人物像

工学部

機械工学科

機械工学専攻	ものづくりに強い関心を持ち、機械の原理や法則、機構、仕組みを深く探求し、現代社会の求める新たな機械や効率的な設計、生産、製造方法の構築に意欲のある人。(数Ⅰ、数Ⅱや物理などの科目を履修又は履修予定であることが望ましい。)
IT応用機械専攻	IT技術の機械への応用に強い関心を持ち、機械のハードウェアからソフトウェアまでを深く探求し、IoT(モノのインターネット)により繋がる新たな機械や次世代産業システムを創造、構築することに意欲のある人。(数Ⅰ、数Ⅱや物理などの科目を履修又は履修予定であることが望ましい。)
AIロボティクス専攻	AI技術の機械への応用に強い関心を持ち、ロボットの構造や制御を深く探求し、AIを活用したロボット(産業・医療・交通機械)やそれらを繋ぐ広い範囲におよぶシステムを創造、構築することに意欲のある人。(数Ⅰ、数Ⅱや物理などの科目を履修又は履修予定であることが望ましい。)

生命環境化学科

バイオサイエンス専攻	生物・生命科学(バイオサイエンス)に関する分野に関心が高く、バイオ科学、生物学、生化学および生理学などの理解・応用によって社会に貢献していこうとする強い意欲を持ち、他者との協働によって目標を達成したい意欲のある人。(生物および化学の科目を履修または履修予定であることが望ましい。)
応用化学専攻	応用化学に関する分野に関心が高く、広範な化学の領域から生み出す新技術・新素材・新材料および新しいプロセスによって将来社会に貢献したい強い意欲を持ち、他者との協働によって目標を達成したい意欲のある人。(化学の科目を履修または履修予定であることが望ましい。)
環境・クリーンエネルギー専攻	環境科学・エネルギー科学に関する分野に関心が高く、環境・エネルギー分野の各領域(化学・生物の各分野を応用)の理解・応用によって新しい技術を開拓するとともに社会に貢献していこうとする強い意欲を持ち、他者との協働によって目標を達成したい意欲のある人。(化学および生物の科目を履修または履修予定であることが望ましい。)

情報システム学科

IT専攻	コンピュータ、インターネット、CG、スマートフォンなどの身の回りのIT(情報技術)に関心を持ち、情報システムを活用して企業や社会に貢献していくITエンジニア・ITスペシャリストを目指す意欲のある人。これからのIoT(モノのインターネット)時代に向けて、センサ、ネットワーク、データサイエンスなどを統合するような広い視野で未来の情報システムの企画、設計、開発を行う意欲のある人。(数Ⅰ、数Ⅱの科目を履修又は履修予定であることが望ましい。)
AI専攻	これからの汎用技術であるAI(人工知能)に関心があり、AIを活用するための知識とノウハウを学び、新ビジネスやアイデア創出にまい進するエンジニアやスペシャリストを目指す意欲のある人。もしくは、様々なビッグデータを活用してデータを科学的に分析し、分析結果をビジネスなどに応用するAIエンジニアなどを目指す意欲のある人。(数Ⅰ、数Ⅱの科目を履修又は履修予定であることが望ましい。)
自動運転専攻	自動運転に関する技術を学んだエンジニアは今産業界から広く求められており、それに応えられる人。具体的には、AI(人工知能)・画像処理・走行制御・プログラミングなどの自動運転に必要なスキルを持ち、次世代モビリティの企画・開発・設計・製造といった各プロセスにおいてエキスパートになれる人。さらには、自動運転で学んだ技術を用いて様々なビジネスの世界で活躍することができる人。(数Ⅰ、数Ⅱの科目を履修又は履修予定であることが望ましい。)
電気電子専攻	電気・電子工学は、現代社会に必須の基盤技術である。電気工学の電力・エネルギーから、電子工学の半導体素子や物性、回路技術と有線無線通信、信号処理・数値解析などまで幅広く学び、グループの中で協調して活躍できるエンジニアやスペシャリストを目指す意欲のある人。(数Ⅰ、数Ⅱ、数A、物理基礎の科目を履修又は履修予定であることが望ましい。)

アドミッション・ポリシー(A P): 入学者受入方針

工学部

工学部は機械、生命環境化学、情報システムの分野で科学技術に対する勉学を志し、自ら積極的に学んだ知識を用いて社会の発展に貢献する希望と意欲をもつ学生を受け入れる。

機械工学科

機械工学科では、建学の精神に基づいて、使命感・人生観・連帯感を有した機械系技術者や教育者を、ものづくり技術やIT応用技術、AI・ロボット技術を通して育成するため、次のような資質・能力を複数備えた学生を求める。

<知識・技能>

- 本学の機械工学科の学びに必要な基礎的知識(数学・理科・情報)を身につけ、機械の原理・法則、機構・動作のしくみを学ぶための力学に関連した基礎教育、IoTやAIを学ぶための情報に関連した基礎教育に十分対応できる能力を有している。
- 本学の機械工学科の学びに必要な基礎的技能(設計・工作、電気・電子、情報・プログラミング等)を身につけている。

<思考・判断・表現>

- 自分の考えや質問の答えを明確に説明することができる。
- 文章理解力や作文能力を身につけている。
- 基礎的な英語力を身につけている。

<主体性・意欲・協働性>

- 機械の仕組みやものづくり技術、IoTやAIの機械への活用に関心があり、機械系技術者になることを希望する。
- 機械・情報に関心を持ち、継続して学習する意欲がある。
- 科学的に探究して解決に取り組むチャレンジ精神を有している。
- 技術者として社会に貢献しようとする意欲がある。
- 仲間と協力し、物事を進めることができる。

<入学者選抜>

- 機械工学科においては、以上の資質・能力等を総合・多面的に評価するため、総合型選抜・一般選抜・学校推薦型選抜・特別選抜で入学者選抜を実施する。

生命環境化学科

生命環境化学科では、建学の精神に基づいて、使命感・人生観・連帯感を有した生命科学、環境科学、材料化学分野の発展に貢献する問題解決能力と実践的応用力を潜在的に併せ持つ以下の要件を満たす入学生を選抜している。

<知識・技能>

- 生命環境化学科の学びに必要な化学、数学、情報等の基礎的知識を身につけ、生命科学、環境科学、材料化学に関連した教育に十分対応できる能力を有している。
- 大学での勉学・研究を開始するために必要な言語能力を有する。

<思考・判断・表現>

- 自分の考えや質問の答えを明確に説明することができる。
- 文章理解力や作文能力を身につけている。

<主体性・意欲・協働性>

- 「実験」が好きで、技術力、実践力を実社会で大いに発揮したい意欲をもつ。
- 好奇心が旺盛で、失敗を恐れず積極的にチャレンジする挑戦心に富む。
- 自らの興味に沿った活動を積極的に展開し、世界を開拓したいバイオニア精神をもつ。
- 身につけた科学的知識や技術などの多彩な経験を、専門職業人として生かす意欲をもつ。
- 連帯感をもち、仲間と協力し協働的に物事を進めることができる。

<入学者選抜>

- 生命環境化学科においては、以上の資質・能力等を総合的・多面的に評価するため、総合型選抜・一般選抜・学校推薦型選抜・特別選抜で入学者選抜を実施する。

情報システム学科

これからの高度情報化社会(情報通信、電気自動車、情報家電、物流等)を支えるICT(情報通信技術:Information and Communication Technology)技術者が強く求められている。

ソフトウェア、ハードウェアに精通して総合力を発揮し情報システムを構築できるICT技術者の養成を教育の理念としている。

このため、本学科ではソフトウェアに重点を置いた情報システム技術(コンピュータ、ネットワーク、ソフトウェア、プログラミング、CG等)と、生物の知能を模倣し計算機上で実装、活用するAI(人工知能)技術、AIの応用事例としての自動運転技術、電子工学に重点を置いた電子情報技術(電子デバイス、電子回路、通信、デジタル情報等)を教育しており、これらに強い興味と関心を持ち、以下の適性を持つ学生を入学者試験で求めている。

<知識・技能>

- 情報システム学の学習に必要な基礎学力(数学、物理、プログラミング等)とコミュニケーション能力を有する人
- コンピュータ、情報通信の分野に強い興味と関心を持つ人(IT専攻)
- AIの仕組み、開発、運用に強い興味と関心を持つ人(AI専攻)
- ハードウェア、ソフトウェア両面の知識を身につけた自動運転技術者を目指したい人(自動運転専攻)
- 電気電子工学に関する高度な専門知識を身につけ社会でニーズの高い電子技術者を目指したい人(電気電子専攻)

<思考・判断・表現>

- 自分の考えや質問の答えを明確に説明することができる。
- 文章理解力や作文能力を身につけている。
- 基礎的な英語力を身につけている。

<主体性・意欲・協働性>

- 情報システム技術、人工知能技術や電子情報技術に強い興味があり、情報システム系技術者になることを希望する。
- ものづくりに興味があり、自分の手で新しいものを創り出すことに意欲がある。
- 技術者として社会に貢献しようとする意欲がある。
- 好奇心が旺盛で、何事にも積極的かつ自主的に取り組むことができる。
- 仲間と協力し、物事を進めることができる。

<入学者選抜>

- 情報システム学科においては、以上の資質・能力等を総合・多面的に評価するため、総合型選抜・一般選抜・学校推薦型選抜・特別選抜で入学者選抜を実施する。

各学科・専攻の求める人物像

人間社会学部

情報社会学科

I T経営専攻	経営と情報技術全般にわたる専門知識を修得し、それらを主体的に活用して現代社会の様々な課題に立ち向かっていきたい人。情報化社会に求められる教養、知識を身につけ、社会で活用したいと考えている人。
メディアデザイン専攻	メディア表現とデジタル技術を利用したデザインやコンテンツ制作技術を総合的に学ぶことによって、情報化社会に求められる教養、知識を身につけ、社会で活用したいと考えている人。

心理学科

ビジネス心理専攻	心理学の専門的知識とともに、ビジネスに関する知識や感覚も身につけたいという意欲をもつ人。大学での実践的な学びを通して、自分や他者の心を客観的に理解する力を仕事や人間関係の中で応用し、他者と協調しながら活躍できるようになりたい人。
臨床心理専攻	心理学の基礎的な知識を着実に身につけながら臨床心理学を学びたい人。人の役に立ちたい、世の中に貢献したいという思いを実現するために、公認心理師などの資格取得を考えて、意欲的に専門知識を学び実習に参加しようという人。

アドミッション・ポリシー(A P): 入学者受入方針

人間社会学部

経営、情報、文化、メディアコンテンツ、心理学の分野に強い興味や関心を持ち、自ら積極的に学んだ知識、技能を用いて社会の発展に貢献する希望と意欲をもつ学生を受け入れる。

情報社会学科

情報社会学科では、幅広い教養と知識、情報を扱う能力を身につけ、それらを活用して社会に貢献できる人材の育成を目指している。このため、本学科では社会の様々な分野において、自ら課題を発見し解決することを通じて変化の激しい現代社会に対応し、主体的に活動することができる以下の適性を持つ入学者を求めている。

<知識・技能>

- 情報社会学科の学びに必要な基礎知識(情報処理、言語能力等)を身につけている。
- 情報社会学科の学びに必要な情報、経営、社会科学、メディアに関連した教育に十分対応できる能力を有している。
- 経営全般にわたる専門知識を修得し、現代社会の様々な課題に立ち向かっていきたい人。
- 情報技術に関する専門的な知識、技能を活かした表現活動をしたい人。
- 情報化社会に求められる教養、知識を身につけ、社会で活用したいと考えている人。

<思考・判断・表現>

- 自分の考えや他者の考えに対する位置づけを明確に説明することができる。
- 基本的な文章理解力と文書作成能力を身につけている。
- 基礎学力とコミュニケーション能力を有している。

<主体性・意欲・協働性>

- 情報技術、経営、デジタルコンテンツ制作に強い興味と関心がある。
- 情報技術や社会科学分野について継続して学習する意欲がある。
- 論理的に探究して積極的に成長を求める精神を有している。
- 身につけた教養や専門知識を活かして社会に貢献しようとする意欲がある。
- 連帯感を持ち、仲間と協力して協働的に物事を進めることができる。

<入学者選抜>

- 情報社会学科においては、以上の資質・適正・能力等を総合・多面的に評価するため、総合型選抜入試・一般選抜入試・大学入学共通テスト利用入試・学校推薦型選抜入試・特別選抜入試等の多様な入学者選抜を実施する。

心理学科

心理学科では、教育研究上の目的を実現するために、以下のような人材を広く求めている。

<知識・技能>

- 高等学校等における教育課程を広く履修して、心理学科での学びに必要な基礎学力(国語・英語・数学など)を身につけている。
- 心理学科での学びに必要な基礎的技能(言語・数・情報などを扱う力)を身につけている。

<思考・判断・表現>

- ものごとを合理的に考えて評価し判断する力を身につけている。
- 自分の考えや意見・判断を他者に明確に説明することができる。

<主体性・意欲・協働性>

- 人間の心を科学的に理解する心理学に強い関心を持ち、積極的に学ぶ意欲がある。
- 身に付けた教養や専門的知識を活かして、社会に貢献する姿勢を有している。
- 他者の価値観を尊重しながら、仲間と協調して物事を進める姿勢を有している。

【ビジネス心理専攻】

- 心理学に加えて、データを活用する技法や、社会科学の知識を積極的に学ぶ意欲がある。
- 身に付けた知識と技能とを活かして、ビジネスや社会生活における課題に取り組む姿勢を有している。

【臨床心理専攻】

- 公認心理師などの資格取得を考え、演習および実習などへの積極的な参加を通じて、主体性を持って学ぶ意欲がある。
- 臨床心理学の専門知識を活用して、人と社会の「心の問題」を支援する姿勢を有している。

<入学者選抜>

- 心理学科においては、以上の資質・能力等を総合・多面的に評価するため、総合型選抜・一般選抜・学校推薦型選抜・特別選抜で入学者選抜を実施する。

一般選抜A日程

「総合工学系」対応

一般選抜A日程は試験日自由選択制・2教科採用試験で実施します。

同一試験内で複数の学科・専攻を併願する場合は、追加費用なしで受験できる「併願入学検定料優遇措置」を採用しています。(19ページをご参照ください。)

なお、**成績上位者には、最大4年間授業料等免除などの「特別奨学生制度」を設けております。**(20ページをご参照ください。) また総合工学系に対応しております。(17ページをご参照ください。)

1. 募集人員

学部	工学部				人間社会学部	
学科	機械工学科	生命環境化学科	情報システム学科	総合工学系	情報社会学科	心理学科
専攻	機械工学専攻 IT応用機械専攻 AIロボティクス専攻	バイオサイエンス専攻 応用化学専攻 環境・クリーンエネルギー専攻	IT専攻 AI専攻 自動運転専攻 電気電子専攻		IT経営専攻 メディアデザイン専攻	ビジネス心理専攻 臨床心理専攻
人員	18名	10名	34名	20名	14名	11名

2. 入試日程

出願期間		試験日	合格発表	入学手続締切日
WEB入力期間	出願書類送付期限(必着)			
12月15日(月)～ 1 月20日(火) 16:00	1 月22日(木) 16:00	1 月28日(水) 9:30集合10:00開始 1 月29日(木) 9:30集合10:00開始	2 月 5 日(木) 10:00～	1次: 2 月20日(金) 入学金振込締切日
*当日受付の場合:出願期間				2次: 3 月12日(木) 入学手続締切日
WEB入力期間	出願書類当日持参(時間厳守)			
<u>当日持参用(本学会場のみ)</u> 1 月21日(水)～ 1 月26日(月) 16:00	1 月28日(水) 8:00～ 9:00 1 月29日(木) 8:00～ 9:00			

※当日受付の場合の試験会場は、本学（埼玉工業大学）のみとなります。

※合格発表の確認方法については15ページをご参照ください。

3. 出願資格

以下のいずれかに該当する者。

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、及び2026年3月卒業見込みの者。
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、及び2026年3月修了見込みの者。
3. 学校教育法施行規則150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
4. 高等学校卒業程度認定試験に合格した者、及び入学までに合格見込みの者で、入学までに18歳に達する者。

4. 出題科目

工学部	時限	教科	出題科目		時間	配点	
	1時限	英語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ 論理・表現Ⅰ		各60分	各教科 100点	
	2時限	数学	必答問題	数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学A(「図形の性質」「場合の数と確率」、数学B(「数列」))			
			選択問題①	数学Ⅲ、数学Cの範囲から出題			
			選択問題②	数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学A(「図形の性質」「場合の数と確率」、数学B(「数列」)) } の範囲から出題			
	選択問題は、①・②のいずれかを試験時に選択し解答。						
3時限	理科	下記から受験時に1科目を選択 ・物理基礎、物理(「原子」を除く) ・化学基礎、化学 ・生物基礎、生物 (*1) (*1)機械工学科は、生物を選択できません。					
解答方法		マークシート方式					
人間社会学部	時限	教科	出題科目		時間	配点	
	1時限	英語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ 論理・表現Ⅰ		各60分	各教科 100点	
	2時限	国語	現代の国語(一部記述)				
	3時限	数学	数学Ⅰ 数学A(「図形の性質」「場合の数と確率」)				
	解答方法		マークシート方式、一部記述あり(国語)				

※英語の入試問題は、両学部共通です。

5. 選考方法

2教科の合計点(200点)により選抜します。						
工学部	学科	専攻	教科			備考
			1時限	2時限	3時限	
			英語	数学	理科	
	機械工学科	機械工学専攻	選択	必須	選択	3教科を受験した場合は、選択教科「英語・理科」のうち高得点1教科を採用。 ※理科の科目中「生物」の点数は採用されません。
		IT応用機械専攻				
		AIロボティクス専攻				
	生命環境化学科	バイオサイエンス専攻	2教科を受験時に選択			3教科を受験した場合は、高得点2教科を採用。 ※他学科・専攻を併願する場合は、「数学」を必ず受験してください。
		応用化学専攻				
		環境・クリーンエネルギー専攻				
	情報システム学科	IT専攻	選択	必須	選択	3教科を受験した場合は、選択教科「英語・理科」のうち高得点1教科を採用。
		AI専攻				
		自動運転専攻				
		電気電子専攻				
総合工学系		選択	必須	選択		
人間社会学部	学科	専攻	教科			備考
			1時限	2時限	3時限	
			英語	国語	数学	
	情報社会学科	IT経営専攻	2教科を受験時に選択			3教科を受験した場合は、高得点2教科を採用。
		メディアデザイン専攻				
	心理学科	ビジネス心理専攻				
臨床心理専攻						

※やむを得ない状況が発生した場合は、入学試験要項に掲載されている選抜方法とは異なる方法で選抜を行う場合があります。これらの緊急措置をとる場合は、本学のホームページ等を通じてお知らせします。

※調査書の活用方法について

出願時に調査書の提出を求めますが、可否判定には利用せず入学後の学修面・生活面の助言と支援に活用します。

6. 試験時間割

学 部	集合時間	諸注意	試 験 時 間			
			1時限	2時限	昼 食	3時限
工 学 部	9:30	9:40～	英語 10:00～11:00	数学 11:30～12:30	12:30～13:20	理科 13:30～14:30
人間社会学部			英語 10:00～11:00	国語 11:30～12:30		数学 13:30～14:30

7. 試験会場

(1) 試験会場一覧

試 験 会 場	一般選抜A日程		試 験 会 場 名	所 在 地
	両学部全学科			
	1／28(水)	1／29(木)		
本 学	●	●	埼玉工業大学	埼玉県深谷市普済寺1690
東 京	●	●	研究社英語センター	東京都新宿区神楽坂1丁目2
大 宮	●	●	JA共済埼玉ビル	埼玉県さいたま市大宮区土手町1丁目2
福 島	—	●	コラッセふくしま	福島県福島市三河南町1-20
山 形	●	—	ヤマコーホール	山形県山形市香澄町3丁目2-1
仙 台	—	●	仙台ガーデンパレス	宮城県仙台市宮城野区榴岡4丁目1-5
水 戸	●	—	茨城県産業会館	茨城県水戸市桜川2丁目2-35
宇都宮	—	●	ライトキューブ宇都宮	栃木県宇都宮市宮みらい1-20
小 山	●	—	小山商工会議所	栃木県小山市城東1丁目6-36
高 崎	●	—	高崎商工会議所	群馬県高崎市問屋町2丁目7-8
前 橋	—	●	アクエル前橋	群馬県前橋市表町2丁目30-8
松 本	●	—	松本商工会議所	長野県松本市中央1丁目23-1
長 野	—	●	JA長野県ビル	長野県長野市北石堂町1177-3
新 潟	●	—	新潟日報メディアシップ	新潟県新潟市中央区万代3丁目1-1
静 岡	—	●	静岡商工会議所会館	静岡県静岡市葵区黒金町20-8
山 梨	●	—	甲府商工会議所	山梨県甲府市相生2-2-17

●印は該当する試験をその試験地で実施することを示します。横線は該当する試験をその試験地では実施しないことを示します。

試験会場の詳細は下記よりご確認ください。

<https://www.sit.ac.jp/entrance/nyushi/venue/>



※1月28日(水)・1月29日(木)両日受験しても入学検定料は、30,000円です。なお、両日受験することで両学部をそれぞれ第一志望として受験することが可能です。また、両日受験することで奨学生採用の可能性が広がります。

(2) 試験会場の選択

- 在住地域に関係なく、WEB出願時に、希望する試験会場を選択できます。

試験会場による合否判定の有利・不利は一切ありません。

- 試験会場は各試験日ごとに選択できます。例えば、1月28日を大宮会場、1月29日を東京会場などといったことも可能です。
- 入学検定料の決済後の試験会場の変更は出来ません。出願の際には試験会場は慎重に選ぶようにしてください。

各試験会場とも受験希望者が収容人数に達すると満席となり、選択できなくなります。満席の場合は他の選択可能な会場での受験となります。

一般選抜B日程【主体性評価型】

「英語外部試験スコア利用入試」対象

一般選抜B日程は2教科採用試験（200点）及び調査書の点数評価（10点）により実施します。
 複数の学科・専攻を併願する場合は、追加費用なしで受験できる「併願入学検定料優遇措置」を採用しています。
 また、一般選抜A日程で、入学検定料納入済の場合は、入学検定料無料で受験できます。（19ページをご参照ください。）

1. 募集人員

学部	工学部			人間社会学部	
学科	機械工学科	生命環境化学科	情報システム学科	情報社会学科	心理学科
専攻	機械工学専攻 IT応用機械専攻 AIロボティクス専攻	バイオサイエンス専攻 応用化学専攻 環境・クリーンエネルギー専攻	IT専攻 AI専攻 自動運転専攻 電気電子専攻	IT経営専攻 メディアデザイン専攻	ビジネス心理専攻 臨床心理専攻
人員	7名	6名	15名	6名	4名

2. 入試日程

出願期間		試験日	合格発表	入学手続締切日
WEB入力期間	出願書類送付期限（必着）			
1月30日(金)～2月10日(火) 16:00	2月13日(金) 16:00	2月19日(木) 9:30集合 10:00開始	2月27日(金) 10:00～	3月12日(木)

※合格発表の確認方法については15ページをご参照ください。

3. 出願資格

以下のいずれかに該当する者。

1. 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者、及び2026年3月卒業見込みの者。
2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、及び2026年3月修了見込みの者。
3. 学校教育法施行規則150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び2026年3月31日までにこれに該当する見込みの者。
4. 高等学校卒業程度認定試験に合格した者、及び入学までに合格見込みの者で、入学までに18歳に達する者。

4. 出題科目

工学部	時限	教科	出題科目		時間	配点
	1時限	英語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ 論理・表現Ⅰ (一部記述)		各60分	各教科 100点
	2時限	数学	必答問題	数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学A(「図形の性質」「場合の数と確率」)、数学B(「数列」)		
			選択問題①	数学Ⅲ、数学Cの範囲から出題		
			選択問題②	数学Ⅰ、数学Ⅱ、 数学A(「図形の性質」「場合の数と確率」)、数学B(「数列」)		
選択問題は、①・②のいずれかを試験時に選択し解答。						
3時限	理科	下記から受験時に1科目を選択 ・物理基礎、物理(「原子」を除く) ・化学基礎、化学 ・生物基礎、生物　(＊1) (＊1)機械工学科は、生物を選択できません。				
人間社会学部	時限	教科	出題科目		時間	配点
	1時限	英語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ 論理・表現Ⅰ (一部記述)		各60分	各教科 100点
	2時限	国語	現代の国語(一部記述)			
	3時限	数学	数学Ⅰ 数学A(「図形の性質」「場合の数と確率」)			

解答方法はマークシート方式で、一部記述があります。(工学部:英語/人間社会学部:英語・国語)

※英語の入試問題は、両学部共通です。

▶記述式問題の出題の意図や評価すべき能力「英語」

基本的な和訳・英訳問題を解かせることにより、語彙力、構文力、文法力を総合評価する。更には、受験生の日本語並びに英語表現を通じて、客観式選択問題では測れない思考力・理解力を評価する。

5. 選考方法

2教科の合計点(200点)及び調査書の点数評価(10点)により選抜します。						
工学部	学科	専攻	教科			備考
			1時限	2時限	3時限	
			英語	数学	理科	
	機械工学科	機械工学専攻	選択	必須	選択	3教科を受験した場合は、選択教科「英語・理科」のうち高得点1教科を採用。 ※理科の科目中「生物」の点数は採用されません。
		IT応用機械専攻				
		AIロボティクス専攻				
	生命環境化学科	バイオサイエンス専攻	2教科を受験時に選択			3教科を受験した場合は、高得点2教科を採用。 ※他学科・専攻を併願する場合は、「数学」を必ず受験してください。
		応用化学専攻				
		環境・クリーンエネルギー専攻				
	情報システム学科	IT専攻	選択	必須	選択	3教科を受験した場合は、選択教科「英語・理科」のうち高得点1教科を採用。
		AI専攻				
		自動運転専攻				
		電気電子専攻				
人間社会学部	学科	専攻	教科			備考
			1時限	2時限	3時限	
			英語	国語	数学	
	情報社会学科	IT経営専攻	2教科を受験時に選択			3教科を受験した場合は、高得点2教科を採用。
		メディアデザイン専攻				
	心理学科	ビジネス心理専攻				
		臨床心理専攻				
両学部	調査書記載事項のうち、学習成績の状況、出欠状況、クラブ活動・生徒会活動等の課外活動状況を点数評価し判定に活用します。〈配点10点〉 ※本人の責めに帰さない身体・健康上の理由によるやむを得ない欠席、例えば新型コロナウイルス感染症の罹患後症状と考えられる症状や月経随伴症状などによる欠席は評価に影響しません。					

利用できる英語資格・検定試験と得点換算

指定された英語外部試験（4技能に限る）のスコアは下記の基準に従い、本学の試験教科「英語」の得点として換算します。その場合、試験教科「英語」の受験は必要ありません。

なお、英語外部試験のスコアを利用した場合でも、本学個別英語試験を受験することができます。その場合は、どちらか高得点のものを英語の得点として採用します。

英語外部試験	CEFR			
実用英語技能検定	C2～B2	B1	A2	A1
GTEC				
GTEC CBT				
TEAP				
TEAP CBT				
みなし得点	100点	85点	70点	対象外

- (注) 1 当該入学試験の出願開始日から、過去3年以内に取得した資格・スコアに限り有効とします。
 2 各証明書の原本またはコピーを提出してください。
 (出願書類は返却できませんのでご注意ください。)
 3 GTECはOFFICIAL SCOREの成績のみ有効とします。

6. 試験時間割

学 部	集合時間	諸注意	試 験 時 間			
			1時限	2時限	昼 食	3時限
工 学 部	9:30	9:40～	英語 10:00～11:00	数学 11:30～12:30	12:30～13:20	理科 13:30～14:30
人間社会学部			英語 10:00～11:00	国語 11:30～12:30		数学 13:30～14:30

7. 試験会場

(1) 試験会場一覧

試験会場	試験会場名	所在地
本 学	埼玉工業大学	埼玉県深谷市普濟寺1690
東 京	研究社英語センター	東京都新宿区神楽坂1丁目2
大 宮	JA共済埼玉ビル	埼玉県さいたま市大宮区土手町1丁目2
高 崎	ビエント高崎	群馬県高崎市問屋町2-7

試験会場の詳細は下記よりご確認ください。

<https://www.sit.ac.jp/entrance/nyushi/venue/>



(2) 試験会場の選択

- 在住地域に関係なく、WEB出願時に、希望する試験会場を選択できます。

試験会場による合否判定の有利・不利は一切ありません。

- 入学検定料の決済後の試験会場の変更は出来ません。出願の際には試験会場は慎重に選ぶようにしてください。

各試験会場とも受験希望者が収容人数に達すると満席となり、選択できなくなります。満席の場合は他の選択可能な会場での受験となります。

出 願

1. 出願に必要な書類

(1) 志願確認票

◇「大学出願ネット」の入学検定料の決済方法の選択が完了すると、出願状況一覧より「志願確認票」「宛名ラベル」がダウンロードできるようになります。「志願確認票」はA4用紙で2枚印刷してください。1枚は提出用、もう1枚は本人控えです。

(1) 調査書（厳封）

◇文部科学省指定の様式により出身学校が作成した大学受験に用いる調査書で「全体の学習成績の状況欄」「成績概評」を記入したもの。（3ヶ月以内に作成されたもので、発行責任者が厳封したものに限る。）

◇本人に帰責されない身体・健康上の理由による欠席に関しては、調査書の備考欄にその旨を記載してください。

例えば新型コロナウイルス感染症の罹患後症状と考えられる症状や月経随伴症状などによる欠席は評価に影響しません。

◇高等学校卒業程度認定試験に2026年3月31日までに合格または合格見込みの者（大学入学資格検定合格者を含む）は、調査書に代わり「合格成績証明書」が必要となります。（合格見込者は、「合格見込成績証明書」になります。）

◇各書類の氏名が現在（志願確認票に記載する氏名）と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類（戸籍抄本等）を添付してください。

◇一度調査書をご提出いただくと、それ以降の試験区分に出願する場合に調査書の再提出は必要ありません。

(1) 一般選抜B日程：英語外部試験のスコア（希望者のみ）

希望者は、次の注意事項を確認のうえスコアを提出してください。

（注）1 当該入学試験の出願開始日から、過去3年以内に取得した資格・スコアに限り有効とします。

2 各証明書の原本またはコピーを提出してください。

（出願書類は返却できませんのでご注意ください。）

3 GTECはOFFICIAL SCOREの成績のみ有効とします。

【疾病・障がいをお持ちの受験生へ】

疾病・障がい等により、受験及び修学（実験・実習を含む）に際して特別な配慮を必要とする場合は、入学検定料を振り込む前に入試課（☎0120-604-606 TEL 048-585-6814）までお問い合わせください。

■入学者選抜によって取得した個人情報の取扱について

埼玉工業大学の入学者選抜において、本学が取得した個人情報は、個人情報保護法の趣旨に則り厳重に管理しておりますが、以下の目的に利用させていただきます。

①入学者選抜にかかわる業務

②出身高等学校等への結果報告

2. 入学検定料

(1) 金額 30,000円

(2) 入学検定料に係わる事務手数料

◇クレジットカード700円／コンビニエンスストア350円／ペイジー238円

(3)

クレジットカード	コンビニエンスストア	ペイジー
		
上記クレジットカードを利用して ネット上でお支払いが可能です	上記コンビニエンスストアで お支払いが可能です	ペイジー対応のATMまたは インターネットバンキング・モバイル バンキングでお支払いが可能です
※クレジットカードの名義人は受験生本人でなく ても構いません。	※最初にWEB上で手続きを行います。 ※利用可能なコンビニエンスストアが増えた場合 は、ホームページでお知らせします。	※事前契約が必要です。ご利用可能な銀行や郵便 局は、ペイジーのホームページで事前にご確認 ください。

※コンビニエンスストア・ペイジーを選択した場合は、画面上の支払票に記載されている内容を控えて、所定のATMやコンビニエンスストアなどの施設でお支払いください。

(4) 支払期間

A 日程	12月15日(月)～1月20日(火) 24時
B 日程	1月30日(金)～2月10日(水) 24時

※支払期限は、入学検定料の決済方法を選択・登録した日の「翌々日の24時」です。ただし、WEB入力期間最終日および前日に登録した場合の支払期限は「WEB入力期間最終日の24時」となります。

(5) 注意事項

- ◇出願書類に現金・小切手・郵便小為替などを同封したものは受付できません。
- ◇入学検定料のほかに事務手数料がかかります。事務手数料は受験生負担となります。
- ◇支払期限内に入学検定料の支払いがなかった場合は登録情報が無効になります。(氏名、連絡先などの個人情報は除きます。)
- ◇入学検定料の入金後は、登録内容の変更はできません。
- ◇納入された入学検定料および事務手数料の返金はできません。

(6) その他

「併願入学検定料優遇措置」についての詳細は19ページをご参照ください。

3. 出願書類の提出

(1) 提出方法

◇出願書類の提出は、郵送となります。市販の角2サイズの封筒に「宛名ラベル」を貼付したものを使用し、必ず郵便局の窓口から「簡易書留郵便の速達」で送付してください。

(2) 出願期間

A日程	12月15日(月)～1月22日(木) 16:00 必着
B日程	1月30日(金)～2月13日(金) 16:00 必着

(3) 注意事項

◇入学検定料・出願書類のいずれか一方でも出願期間を過ぎたり、不備がある場合には受付できません。
◇入学検定料の支払完了後は受験学部・学科・専攻の変更を認めません。

(4) 当日受付の場合（A日程・本学会場のみ）

◇出願書類を試験当日に持参してください。
A日程 1月28日（水）8：00～9：00／1月29日（木）8：00～9：00

4. 受験票（各自印刷し、試験当日に持参）

◇必要書類の受理・入学検定料の入金が確認されると、登録されたメールアドレスに「出願完了メール」が送信されます。受信したメールを確認し、受験票をA4用紙に各自印刷し、試験当日に持参してください。（受験票の記載内容を必ず確認してください。）記載内容の訂正をしたい場合は、埼玉工業大学入試課（☎0120-604-606）までお問い合わせください。

5. 「出願状況一覧」から出願内容を確認

◇「大学出願ネット」の入学検定料の決済方法の選択が完了すると、出願状況一覧が作成されます。出願状況一覧では出願内容、入学検定料の入金状況および必要書類の提出の有無などを確認することができます。（出願状況一覧をご覧になるには登録したパスワードが必要となります。）

出願における注意事項

①出願データの有効期限

登録された出願データは入学検定料の支払いがないまま支払期限（12ページ(4)支払期間の※を参照）を過ぎると無効となります。（氏名、連絡先などの個人情報は除きます。）

②漢字などの登録エラー

住所・氏名などの情報を入力する際、JIS第1水準・第2水準以外の漢字は登録エラーになります。

高は高、崎は崎というように、代わりの文字で入力してください。

③個人情報の変更

住所、連絡先などの個人情報は、ログイン後「登録情報」から「個人情報の変更依頼はこちらから」より正しい情報を入力の上、変更依頼を送信してください。

④出願情報の変更（キャンセル（削除）⇒再度出願登録）

志望学科・専攻や試験会場などを間違えて登録した場合、入学検定料を支払う前であれば、ログイン後「支払状況」からキャンセル（削除）し、再度正しい内容で出願登録を行ってください。

受験に際しての注意

1. 試験前日までの注意

- (1) 事前に、試験会場の確認(交通所要時間等)をしてください。交通機関の混雑等を考慮して、十分時間の余裕をとってください。また、試験会場の下見をする場合は、会場の位置などの確認だけにしてください。会場内には立ち入ることはできません。
- (2) 試験当日スクールバスを運行いたします。時刻表はホームページよりご確認ください(予約不要)。
- (3) 宿泊が必要な場合、手配は各自で直接行ってください。
- (4) 受験票と筆記用具を確認してください。

2. 試験当日の注意

- (1) 受験票と筆記用具を持参してください。受験票は試験会場内では常に携帯してください。
- (2) 試験開始時刻の30分前(9時30分)までに試験会場に到着し、試験会場内の案内掲示に従って、試験教室に入室してください。試験開始時刻20分前(9時40分)に試験の諸注意を行います。
- (3) 試験教室に入室したら受験番号と同一番号の席につき、受験票を机上の受験番号の下側においてください。
- (4) 試験会場では、係員の指示に従ってください。
- (5) 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後30分以内の遅刻に限り、受験を認めます。
なお、公共交通機関の事故、災害等やむを得ない事情により、試験開始時刻に到着できないことがわかった場合には、直ちに入試課(☎0120-604-606 TEL 048-585-6814)へ電話連絡をして、指示を受けてください。
- (6) スマートフォン等は、時計として使用できません。必ず電源を切り、カバン等にしまってください。
- (7) 一般選抜の学力試験の解答方法は、人間社会学部: マークシート方式と記述式の併用、工学部: マークシート方式と記述式の併用(B日程英語のみ)による解答です。解答には必ず「黒鉛筆(HB・Bのいずれかを使用)」、「プラスチック製の消しゴム」を使用してください。
- (8) 試験中机上に置くことのできるのは、受験票、筆記用具(鉛筆・シャープペンシル・消しゴム)、時計(アラーム機能は解除、計算や翻訳機能を備えたものは不可)です。
- (9) 試験が終了したら、解答した答案用紙のみを提出し、それ以外の問題等は持ち帰ってください。
- (10) 昼食を持参し、試験教室の自席で食べてください。

3. 受験票の紛失等について

- (1) 試験当日は、各試験会場の係員へ申し出てください。

合格発表の確認方法

合格発表は、所定の日時に以下の方法で行います。

合格発表日の午前 10:00 より、大学出願ネットの「出願状況の確認」→「詳細確認」から確認することができます。
確認には、登録したパスワードが必要となります。

<https://sit.univentry.net>



授業料等納入金・入学手続

1. 授業料等納入金(2026年度入学者)

入学金・授業料等・諸会費は、下記のとおりです。

方 法		学 部	工学部 全学科共通	人間社会学部 全学科共通
一括納入の場合 (入学手続時)		入学金	220,000円※	220,000円※
		授業料	850,000円	750,000円
		実験実習費	150,000円	—
		施設設備費	320,000円	270,000円
		合 計	1,540,000円	1,240,000円
		◎諸会費	114,000円※	114,000円※
		総 合 計	1,654,000円	1,354,000円
分割納入の 場 合	入学手続時	入学金	220,000円※	220,000円※
		授業料	425,000円	375,000円
		実験実習費	75,000円	—
		施設設備費	160,000円	135,000円
		合 計	880,000円	730,000円
		◎諸会費	114,000円※	114,000円※
		総 合 計	994,000円	844,000円
	9 月	授業料	425,000円	375,000円
		実験実習費	75,000円	—
		施設設備費	160,000円	135,000円
		合 計	660,000円	510,000円

※は初年度のみ納入

◎上記費用の諸会費の内訳は、学生会費40,000円、後援会費40,000円、同窓会費20,000円、フレッシュマン・キャンプ費14,000円です。ただし、同窓会費は4年進級時にも10,000円が必要となります。

2. 入学手続

入学手続時納入金を、下記の入学手続締切日までに納入してください。

期日までに納入を完了されない場合は、入学が許可されませんのでご注意ください。

詳しくは、合格者に案内する入学手続サイト上でお知らせします。

試験区分	学部 学科	入学手続締切日
A 日程	両学部 全学科	1 次:2月20日(金) ※入学金振込締切日
		2 次:3月12日(木) ※入学手続締切日
B 日程	両学部 全学科	2月27日(金)～3月12日(木)

3. 入学辞退

入学手続後に入学を辞退する場合は、入学辞退受付期間内（2026年3月31日(火)10：00まで）に電話にて入試課へ申し出てください。

入学辞退に必要な書類（入学辞退届）を郵送いたします。

①入学金以外の授業料・諸会費等の返金について

納入いただいた授業料・諸会費等は2026年3月31日(火)10：00までに入学辞退を申し出た者に限り、入学金を除く授業料・諸会費等を返金します。

入学辞退届受理後、返金までに1週間程度かかりますのでご了承ください。

工学部一括型・総合工学系

工学部一括型とは・・・

工学部一括型とは、入学時の募集を学科・専攻ではなく学部単位で大きく括る制度で、一般選抜A日程および大学入学共通テスト利用入試A試験時に「総合工学系」に出願することで利用できる制度です。

入学前に抱いた学科イメージとのミスマッチを防ぐため、より幅広い大学教育に触れながら、自らの興味・関心・適性等に合った学びの専門領域を入学した後に決めたい人に適しています。

入学者は、1年次の前期期間中は工学部の「総合工学系」に所属します。総合工学系入学者向けの専門カリキュラムの履修を経て、前期終了後にどの学科・専攻に進むかを決定します。

入試について

総合工学系は、「一般選抜A日程(2日間)」及び「大学入学共通テスト利用入試A試験」時に出願が可能です。

従来の専攻入試と併願することもでき、追加の検定料なしで併願受験ができます。

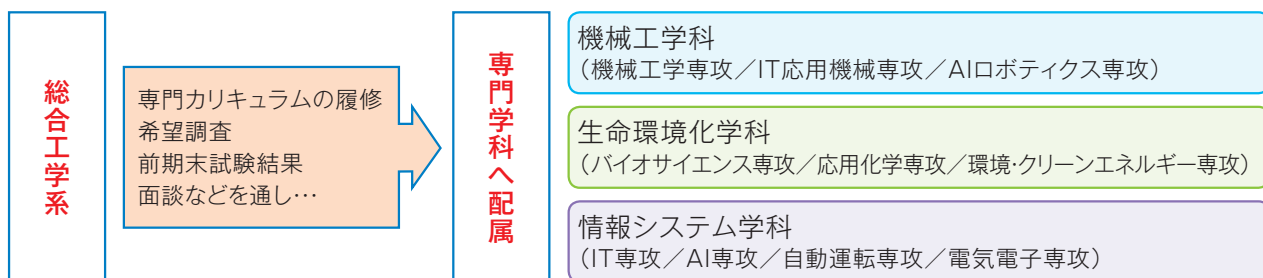
また、本学が行う「特別奨学生制度」も適用されます。

専門学科・専攻への移行

総合工学系入学者のうち、1年次前期に開講される所定の科目群の成績上位50%が、本人が第一志望とする学科・専攻に優先的に配属されます。上位50%に入らない場合は希望に沿えないことがあります。

【4月：1年次前期】

【9月：1年次後期】



学科移行までのスケジュール(予定)

2026年4月	5月	6月	7月	8月	9月
*オリエンテーション *担任教員との面談 *履修ガイダンス *履修設計・履修登録			*配属希望調査 *前期末定期試験	*成績発表 *専門学科の決定	*履修ガイダンス *履修登録(後期)

○選抜方法

一般選抜A日程

2教科の合計点により選抜(200点満点)

選考方法	教科			備考
	1時限	2時限	3時限	
	英語	数学	理科	
	選択	必須	選択	

3教科を受験した場合は、選択教科「理科・英語」のうち高得点1教科を採用
*理科は「物理・化学・生物」のいずれも選択可

大学入学共通テスト利用入試A試験

数学必須及び理科・国語・外国語・情報から1教科1科目を採用(200点満点)

選考方法	教科		出題科目	配点	備考
	必須		以下3科目より1科目		選択教科は高得点1教科1科目(100点満点)で可否判定をします。 ※1.「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」は、2出題範囲を選択解答すること。 ※2.近代以降の文章110点を100点満点に換算。 ※3.英語は、リーディング100点と、リーディング・リスニング計200点を100点満点に換算したもののうち、高得点を採用します。
		数学	「数学Ⅰ, 数学A」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ, 数学B, 数学C」	100点	
	選択		以下4教科8科目より1科目		
		理科	「物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎」※1 「物理」「化学」「生物」「地学」	100点	
		国語	「国語(近代以降の文章)」	100点※2	
		外国語	「英語」	100点※3	
		情報	「情報Ⅰ」	100点	

○出願のパターン

一般選抜A日程

総合工学系、及び工学部の複数の学科・専攻を併願することができます。

出願パターンの例	第1志望	第2志望	第3志望
パターンA	生命環境化学科	情報システム学科	総合工学系
	環境・クリーンエネルギー専攻	自動運転専攻	
パターンB	機械工学科	情報システム学科	総合工学系
	IT応用機械専攻	電気電子専攻	
パターンC	総合工学系	機械工学科	情報システム学科
		AIロボティクス専攻	AI専攻

※第4志望以降も選択可能です。

大学入学共通テスト利用入試A試験

総合工学系、及び両学部の複数の学科・専攻を併願することができます。

出願パターンの例	第1志望	第2志望	第3志望
パターンA	情報システム学科	情報社会学科	総合工学系
	IT専攻	メディアデザイン専攻	
パターンB	総合工学系	生命環境化学科	心理学科
		バイオサイエンス専攻	ビジネス心理専攻

※第4志望以降も選択可能です。

併願入学検定料優遇措置

本学では入学検定料の負担を軽減するために、一般選抜（A・B日程）・一般選抜3月入試・大学入学共通テスト利用入試（A・B・C試験）において「併願入学検定料優遇措置」を導入しています。

① 1回分の入学検定料で複数試験受験が可能

●一般選抜

1回分の検定料(30,000円)で、一般選抜A日程(2日間)・一般選抜B日程の最大3回の試験を受験できます。

●大学入学共通テスト利用入試

1回分の検定料(15,000円)で、大学入学共通テスト利用入試A試験・B試験・C試験の最大3回の試験を受験できます。

② 一般選抜 同一学部内の併願が無料

一般選抜において、1回分の検定料（A日程・B日程30,000円、3月入試10,000円）で、同一学部内の複数の学科・専攻を併願することができます。何専攻併願しても、追加の検定料はかかりません。

例：工学部機械工学科IT応用機械専攻、情報システム学科IT専攻、情報システム学科電気電子専攻を併願
→検定料はA日程・B日程なら30,000円、3月入試なら10,000円

学部により試験科目が異なるため、1回の試験で2学部に出願することはできませんが、試験毎に異なる学部に出願することは可能です。

例：A日程1日目に工学部と人間社会学部に出願→×
A日程1日目に工学部に出願し、A日程2日目に人間社会学部に出願→○

③ 大学入学共通テスト利用入試 2学部の併願が無料

大学入学共通テスト利用入試において、1回分の検定料(15,000円)で、学部に関係なく複数の学科・専攻を併願することができます。何専攻併願しても、追加の検定料はかかりません。

例：工学部情報システム学科IT専攻、情報システム学科AI専攻、人間社会学部情報社会学科IT経営専攻を併願
→検定料は15,000円

特別奨学生制度

最大で4年間の授業料等免除

埼玉工業大学では、一般選抜A日程および大学入学共通テスト利用入試A試験において、奨学生制度を導入しています。

試験結果で成績優秀者が、選考の対象となります。奨学生に採用された場合、下記の優遇措置が適用されます。

A奨学生 … 初年度授業料等※1の「**全額**」免除

B奨学生 … 初年度授業料等※1の「**半額**」免除

C奨学生 … 入学金相当額返還

※1 授業料等は、授業料・実験実習費・施設設備費の合計です。

さらに、2年次以降も、各学年末に1年間の学業成績をもとに審査を行い、奨学生として優遇措置が継続します。また、A奨学生の席次から外れ、B奨学生の席次に該当した場合は、B奨学生の適用となります。

	A奨学生	B奨学生	C奨学生
工学部	132万円 免除	66万円 免除	22万円 返還
人間社会学部	102万円 免除	51万円 免除	22万円 返還

※C奨学生は入学後に入学金相当額を返還します。

※奨学生に採用後、入学辞退された場合は、入学金相当額の返還はいたしません。

※他の奨学生にも採用された場合には、1つを選択していただきます。

提携学費サポートプラン

利子補給奨学金制度※1

本学と連携する(株)オリентコーポレーションの学費サポートプランの利用者に対し、学生の在学期間中における利子相当額について、奨学金として支給いたします。

商品内容

「学費サポートプラン」は、Web又は郵送にて申込み手続きができる、入学金や授業料などの納付金の分割納付制度です(来店や所得証明書は不要です)。お申込み完了まで、2週間程度掛かりますので、お早めにお手続きをお願いします。

年**3.8%**
(固定金利)

- ご利用いただける方……本学に入学または在学するお子さまをお持ちの安定した収入のある保護者(法定代理人)の方で、オリентコーポレーションが認めた方
- 対象費用………入学金・授業料・諸会費等の学校納付金
- ご返済方法………「通常分納」「ステップアップ分納(在学期間中利払)」のどちらかのご選択
- ご利用可能金額………納付書記載金額(ご利用累計500万円まで)
- ご用意いただくもの………●新入学生「合格通知の写し」「納付書の写し」
●在学生「学生証の写し」「納付書の写し」など
- お振込先………ご利用金額は埼玉工業大学へ直接振り込まれます

※審査結果により、お客様のご期待に添えない場合もございます。

ご返済について

- 在学期間中は元金を据置く「ステップアップ分納方式」がご利用いただけます。
- 一部繰上げ返済が可能です(手数料は掛かりません)。
- ボーナス併用払いも可能です。
- ご利用月の翌月からご返済がスタートします。

ご返済の目安(通常分納)

実質年率3.8%(2025年4月1日現在)

ご利用金額	ご返済期間	毎月のご返済額	ご返済総額
100万円	4年7カ月(55回)	20,000円	1,090,360円
100万円	8年1カ月(97回)	12,000円	1,162,780円
200万円	4年7カ月(55回)	40,000円	2,180,747円
200万円	8年1カ月(97回)	24,000円	2,325,613円

※「ステップアップ分納方式」の場合

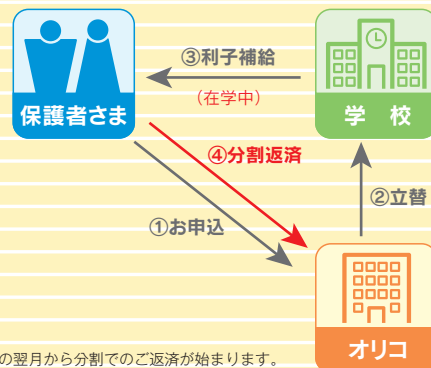
100万円ご利用の場合

月々 3,166円(在学期間4年)

卒業後12,000円〜ご返済(ご返済総額1,314,748円)

※月々のお支払金額に応じて支払回数は変わります。

提携学費サポートプランのしくみ(利子補給奨学金制度)



※ご利用の翌月から分割でのご返済が始まります。

※1：埼玉工業大学利子補給奨学金制度

(注意事項)

- 利子補給の利率の上限は年利5%となります
- 本提携学費サポートプラン以外の教育ローンは、利子補給の対象となりません
- 給付は次年度の6月とし、ローン返済口座に給付します
- 利子補給の期間は在学中に限りです
- 埼玉工業大学への利子補給に関する手続は必要ありません

お申込はこちらから

お急ぎの方
はこちらから

Webからのお申込み手続きは…

URL <https://www.sit.ac.jp/>

大学のホームページから、より早く24時間お申込み手続きが可能です。

資料請求
郵送お申込み
ご希望

(株)オリентコーポレーション
学費サポートデスク【受付時間】9:30~17:30

☎ 0120-517-325

ご自宅へお申込み書を郵送させていただきます。

※学費サポートプランは、貸金業法の適用はありませんので、年収の1/3以上(総量規制)の申込額に対しても丁寧な審査を行います。